

品川出張所DXの取組について (業務環境改善)

酒井 章光¹・高木 博史²

¹関東地方整備局 東京国道事務所 品川出張所 (〒140-0003 東京都品川区八潮1-1-3)

²関東地方整備局 東京国道事務所 管理第二課 (〒102-8340 東京都千代田区九段南1-2-1)

東京国道事務所では、働き方改革の推進、抜本的な生産性や安全性の向上、国土強靱化に関する施策の推進を図るため、インフラDXの取り組みを推進しています。

品川出張所は、東京国道事務所の先行モデルとして業務環境改善、平常時の道路管理、道路整備のうち工事の実施段階におけるDX化を実施しています。今回は業務環境改善の取り組みの紹介をします。

キーワード DX, 業務環境改善, ペーパーレス

1. 東京国道事務所のDXの取組

東京国道事務所では、働き方改革の推進、抜本的な生産性や安全性の向上、国土強靱化に関する施策に推進を図るため、6つの分野についてインフラDXの取り組みを推進しています。

(1) 業務環境改善

先端技術等を活用した新たな働き方をモデル的に実践するためDX関係設備を整備。

(2) 道路管理（平常時）

道路管理等職員及び施工業者の業務の効率化・高度化・労働生産性向上を図るための環境整備。

(3) 道路管理（災害時）

災害時における被災状況の迅速な把握を行うため、ドローン等を活用した映像や点群データの取得、分析等を実施。

(4) 道路整備（調査設計）

品川駅西口駅前広場整備などにおいて、BIM/CIMを導入し、調査・設計段階での様々な検討の効率化。

(5) 道路整備（工事）

CIMデータを活用した施工計画立案、VR活用、試験、検査履歴情報のCIMデータとの紐付け、ICT施工等。

(6) 新たなモビリティサービス

インフラと交通データの連携による最適な交通手段の提供や、次世代交通ターミナルの整備など官民連携によ

る新たなモビリティサービスの実現に向けた取組を推進。

品川出張所では、先行モデルとして業務環境改善、平常時の道路管理、道路整備の工事段階のDXの取組を実施しています。今回は、3分野のうち、業務環境改善について説明します。



図-1 東京国道におけるDXの取り組み状況

2. 業務環境改善の内容

働き方改革の推進、生産性の向上を目指して、執務室のフリーアドレス化、ペーパーレス化により快適なオフィス空間の創出、ワークブースの整備により、業務内容に応じた効果的な執務環境が選択できるように、先端技術等を活用した新たな働き方を実践しています。

(1) 快適なオフィス空間の創出

無線LANや執務室を整備したことにより、自由な席で業務が行えるフリーアドレス化や資料のペーパーレス

化を実施しています。

(2) 多様な執務環境の選択

業務内容に応じ、ワークブースや打合せテーブルでの業務等、効率的な執務環境の選択し業務を行っています。

(3) 多様な会議形態への対応

会議では、360度カメラやモニター等、様々なツールを使い意思決定のスピードの向上を図っています。

(4) 窓口対応業務の迅速化

紙の道路台帳を無くしペーパーレス化し、デジタル化したことにより、業務の効率化が図られ、迅速な窓口対応が可能となっています。



図-2 業務環境改善の取り組み状況

3. 取組状況及び効果

業務環境改善の中で、効果があつたのはペーパーレス化による紙使用の縮減になります。効果は前年度比の約4割近く紙の縮減できた結果となっています。その取り組み内容は次のとおりとです。

(1) 執務環境の整備

執務環境の整備は、無線LAN及び机等の整備をおこなっており、その取り組み状況は次のとおりです。

無線LANの整備のより相談や会議等はパソコンを持参しての説明になり、資料を印刷しなくなった。

また、整備した机に引出がないため資料の保管するスペースが少なくなったため、資料の印刷が少なくなった。

資料の印刷が少なくなったことにより、紙の使用が減少し、印刷手間も省けたが、会議等で資料が必要な時は事前に資料を共有する必要があるため手間が増える場合もあった。

(2) 意識改革

ペーパーレス化を実施するにあたり、今まで紙での保

存ややりとりを行ってきた人がペーパーレス化だから、紙を減らせと言っても難いため、はじめに個人個人の意識を変える必要があると考え、次のような取り組みを行っています。

フリーアドレスになったことにより、日々の席替えを実施しています。席を替えることにより、資料を日々片付ける必要があることから、資料を増えていきにくくしています。

また、出張所内の決裁を電子化しています。今までは紙で決裁をしていたのを、手間はかかりますが電子化して決裁を行うようしています。

このような取り組みによりペーパーレス化への意識を高め、紙使用の縮減をしています。



図-3 コピーの利用枚数のグラフ及び取組状況

4. 今後の課題

品川出張所D Xの取り組みの一部のペーパーレス化については、一定の効果はあったと考えています。しかし、次のような課題も残っています。

ペーパーレス化は、個々の意識改革を行うために日々の席を替えるといった行動化することよりの推進を図っていますが、やはり日々の席替えは面倒な一面もあるため、今後どのように継続していくか課題であり、引き続き考えていく必要があると感じています。

次に許可申請等では、紙での申請があり全ての申請が電子申請が可能になっていないことです。これについては、事務所単位での改善は難しいですが、電子申請のニーズがあるので上部機関に働きかけていきたいと考えています。

5. まとめ

品川出張所D Xの取り組みの一部について紹介させて頂きました。この取り組みを品川出張所だけでなく、他の出張所及び事務所でも取り組めるようにしていきたいと考えています。